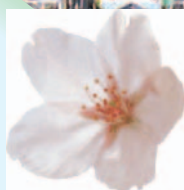




Hiroshima University Hospital Medical-Dental Liaison News

広島大学病院 ニュース

2007.2 第9号



広島大学病院の理念

わたし達は、国民の健康と福祉の向上のために、次の理念を掲げています。

患者さま中心の全人的医療を行います。

優れた医療人を育成します。

新しい医療を開発します。



呼吸器内科

呼吸器内科では、間質性肺炎、サルコイドーシス、膠原病肺などを含むびまん性肺疾患、肺癌、気管支喘息、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、睡眠時無呼吸症候群、肺炎などの呼吸器感染症、急性及び慢性呼吸不全など、呼吸器に関連するすべての疾患に対応できる診療を行っています。標準的な診断・治療法はもちろんのこと、現状では最先端とされる診断・治療法についても情報を得ながら、患者様に最善と考えられる診療を実施しております。さらに、大学病院は研究機関でもあるとの認識に基づき、病態の解明、新たな診断・治療法の開発に向けて、ご協力いただける患者様には決して不利益の無いよう配慮しながら、積極的に臨床試験も行ってまいります。その中でも当科の特徴として挙げられるのは、間質性肺炎、肺癌、気管支喘息・COPDの診療です。今回はその中で間質性肺炎を取り上げてみようと思います。

間質性肺炎ってどんな病気？

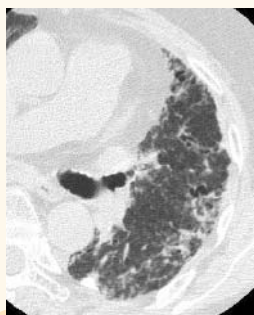
肺は最終的に肺胞という小さな袋状の構造単位が集まってガス交換を行っています。その肺胞の壁（間質）に炎症がおきる病気をまとめて間質性肺炎と呼んでいます。 私たちが一般的に単に「肺炎」と呼んでいる疾患は、細菌やウィルスの感染が原因で肺胞の内部（空気のあるところ）に炎症が起こります。この点がいわゆる「肺炎」と間質性肺炎とが大きく異なる点です。

もっとも多い症状は咳と息切れです。進行すれば肺に線維化が生じ、慢性呼吸不全を呈する可能性があります。間質性肺炎の原因としては、膠原病、マイコプラズマやウイルスなどの感染症、放射線、薬剤などによって起こってくるもの、アスベスト肺や珪肺などの職業環境によって起こってくるもの、カビや鳥の糞・羽毛などの環境抗原によって惹起されるものなど非常に多彩です。また、原因の特定できないものは特発性間質性肺炎と言われ、病理学的に更に細分化されています。治療内容や治療開始時期を決めるためには、原因の特定をすること、特発性間質性肺炎であれば病理学的な情報を得ることが大変重要です。

わが診療科では、血液検査や高分化能CTなどの画像検査はもとより、気管支鏡を用い、気管支肺胞洗浄液の解析をしたり、経気管支肺生検を行っています。さらに必要ならば、呼吸器外科の先生と連携をとり胸腔鏡下肺生検を積極的に行うようにしています。



特発性間質性肺炎のレントゲン写真：
両側下肺中心に間質性肺炎の所見を認め肺の容量減少を認める。



特発性間質性肺炎（肺線維症）の胸部CT写真：
間質性肺炎が進行すれば、肺の容量減少、線維化の所見を認める。



気管支鏡検査：
毎週火曜日・木曜日に4～5名の呼吸器内科医師で施行しています。

呼吸器内科（第二内科）外来 初診・再診日／火・金曜日

Tel. 082-257-5466

咬合・義歯診療科

咬合・義歯診療科では通常臨床として、義歯（取り外し式の入れ歯）、ブリッジ（固定性の入れ歯）、クラウン、インプラントなどを主に行っています。

健全歯はあまり削らないように、高齢者には治療の負担をかけないように、患者様や歯に優しい治療を基本理念としています。

接着ブリッジによる欠損補綴

高度先進医療

接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定は歯をなるべく削らないで、少数歯の欠損を修復する方法で、高度先進医療に認定されており、少数の大学病院でしか行われていません。

右図は上の前歯2本を失った患者様に高度先進医療を行った症例です。上顎の前歯2本が人工の歯です。

右図の接着ブリッジを歯の裏側に強力な接着剤で装着してあります。条件にもよりますが、あまり歯を削らないで治療できます。



高度先進医療：一部分が特定療養費として健康保険から給付され、先進医療技術部分の費用は自費負担とすることにより、先端的な医療を受けやすくなります。

難症例総義歯治療

歯肉を切らずに細いミニインプラントを前歯相当部へ約4本埋入し、即日で現有義歯を修理して、義歯を支持する。その日のうちに義歯を安定させることができる新しい治療法です。

右上図は義歯を入れたところです。下の図のように顎の骨に固定したミニインプラントの頭の部分がボタンのようになっていて義歯が固定できます。

手術のときに、一般的なインプラントのように歯肉を切ったり、縫ったりしないので患者様の負担が少なく高齢者でも可能です。



非金属修復

口腔内に金属を使うことは、金属アレルギーや審美的回復の面からも回避したいものです。当科ではプラスチックやポーセレンなどの審美的材料を用いて治療することも行っています。

顎関節症

口が開けにくかったり、顎がだるかったりする顎関節症は、歯ぎしりのような悪習癖が原因となることも多いのですが、口の中の被せ物が関係していることもあります。スプリントという口の中に装着するマウスガードを作って症状を改善させたり、口腔外科と連携して治療を行っています。スプリントは歯ぎしりの害から歯や顎を守るのに有効です。

心療歯科（補綴）

歯の具合が悪く何度も歯科に通ったが、不幸にも治らないなどと、悩んでいる方もいらっしゃいます。このような悩みを抱えている方には、心身両面からの治療が有効なことがあります。このような訴えの方を対象とした特殊外来です。

その他

癌の治療後の顎補綴、癌治療に用いる放射線治療補助装置、睡眠時無呼吸症候群の治療用のスリープスプリント、スポーツ用のマウスガードなども行っています。

栄養管理部

栄養管理部は、入院中の患者様にとって楽しみの一つと言われているお食事を，“安全・安心して喜ばれる”ことをモットーに提供するフードサービス業務と生活習慣病を始めとして、様々な疾患の予防・快復のための栄養相談業務及び医療チームの一員として、食をとおして正しい知識や新しい情報をクリニカルに提供する栄養ケア業務を行っております。

☆栄養価表示について

これまで、患者様のお食事には、毎食、基本となります料理名を記載した食札をお盆に載せて配膳しておりました。平成19年2月5日(月)昼食から、エネルギー・たんぱく質・塩分の栄養価の記載もするようにいたしました。患者様から、健康管理をしていく上で、参考にできると好評を得ております。

アブラ	763	糖
栄養		
ご飯(中) 200		
チキンカツ・ソテー		
枝豆のサラダ		
ミネストローネ		
いらい		
エネルギー: 622kcal	蛋白質: 25.1g	塩分: 3.8g
当食品は原料・製造方法などにより数値が異なる場合があります。 標準的な数値を記載しております。実際には、糖質や塩分 の変動が生じる場合があります。		

☆お祝い膳について



(4階東デイルームにて)

平成19年2月13日(火)から、当院で出産された方及びそのご家族お一人様に“お祝い膳”のサービスを開始し、赤ちゃんのお誕生をお祝いするとともに、お健やかな成長をお祈りしております。

なお、有料ではありますがご家族お二人様以上の場合も“お祝い膳”をご用意しております。



栄養やお食事の事などで何か困っている事、疑問に思う事などありましたら、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ

TEL : 082-257-5075 ・ 5969 FAX : 082-257-5970

e-mail : byo-eiyo@office.hiroshima-u.ac.jp



広島大学病院のホームページのご紹介

ご意見やご感想を下記へお願いいたします。

広島大学病院 広報委員会 (経営企画室広報担当)

〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号

Tel 082-257-5555 Fax 082-257-5074

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/index.html>

分かりやすく見やすいページづくり
を心がけていこうと思いますので、
引き続きご愛顧のほど、
よろしくお願いいたします。